

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などでご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

2026 年度産業応用のための
基礎化学講座

主 催 京都大学福井謙一記念研究センター
後 援 日本化学会

会 期 10月7日(水)～1月15日(金)

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 京都大学福井謙一記念研究センター
(京都市左京区高野西開町 34-4) [交通] 京都
バス「蓼倉橋」より北へ徒歩 1 分、京都市バ
ス「高野橋東詰」より南へ徒歩 5 分、京阪「出
町柳」駅より北へ徒歩 15 分

参加申込締切 希望回の 1 週間前まで

京都大学福井謙一記念研究センターでは、
企業で研究開発を行ってられる技術者・研
究者の方を対象とした「産業応用のための基
礎化学講座」を 2019 年度より開講しており
ます。今年度は以下の 6 回の講義を予定して
います。

10月7日(水) 超分子化学と超分子材料：
分子認識から機能性材料への展開(京大理工)
生越友樹

10月30日(金) QIDO：マーケット駆動型
の材料・創薬量子イノベーション・プラット
フォーム(QSimulate) 塩崎 亨

11月18日(水) 複合アニオン化合物の合
成、機能物性(京大理工) 陰山 洋

12月4日(金) 流れの中で物質はどう変わ
るか—タンパク質の凝集からバッテリーまでを
NMR で見る(京大院農) 菅瀬謙治

12月25日(金) ペロブスカイト太陽電池の
実用化のための基礎化学(京大化研) 若宮淳
志

1月15日(金) 分子を電気で読む：基礎化
学から拓く生体分子シークエンサー(阪大産
研) 谷口正輝

各回、13時30分～16時45分に実施します
(交流会は 17 時～18 時)。詳細につきましては、
下記 HP をご覧下さい。

参加費 全 6 回 10,000 円(1 回ごとにお申
し込みの場合は各回 2,500 円)

懇親会 各講座終了後、講師を囲んで交流会
を開催します。会費は別途徴収

参加申込方法 Web

申込先・問合先 606-8103 京都市左京区高
野西開町 34-4 京都大学福井謙一記念研究
センター「産業応用のための基礎化学講座」
係 E-mail: openlec2026@fukui.kyoto-u.ac.jp
<https://www.fukui.kyoto-u.ac.jp/openlec2026>

未来からの留学生

—夢化学 21 in Kagawa—

主 催 日本化学会中国四国支部

会 期 10月11日(日) 13時5分～14時50
分

開催方式 対面式

会 場 香川大学幸町北キャンパス(高松市
幸町 1-1) [交通] JR 高徳線「高松」駅乗車
「昭和町」駅下車徒歩 5 分

小学校から一般までを対象にしたおもしろ
化学実験を行います。実験は、イオン液体の
不思議、プニプニボールすくいなど、先端科
学を子供達にわかりやすく説明するものから
児童が楽しみながら体験できるものなど、幅

広く化学のおもしろさについて体験してい
たきます。教育学部が実施している SDGs 活
動紹介、日本化学会の活動紹介を同時に実施
します。当日申込、または、併設している行
事には自由参加できる講座があります。下記
香川大学教育学部の HP をご確認の上ご来場
下さい。

参加費 無料

懇親会 なし

参加申込方法 Web

申込先・問合先 760-8522 高松市幸町 1-1
香川大学教育学部 高木由美子 電話/FAX
(087) 832-1461 E-mail: takagi.yumiko@kagawa-u.ac.jp
<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp>

秋季塗料講演会
先端材料・デジタル技術が
加速する塗料技術の革新

主 催 色材協会

協 賛 日本化学会

会 期 10月16日(金) 9時25分～16時40
分

開催方式 対面式

会 場 ディーアイシービル 2F 会議室(中
央区日本橋 3-7-20) [交通] 東京メトロ銀座
線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅から徒
歩約 2 分、JR「東京」駅から徒歩約 5 分

参加申込締切 ただし定員(60 名)になり次
第

色材協会関東支部では塗料業界の技術向上
と発展を目的として、春季と秋季の年 2 回の
塗料講演会を開催しております。近年、ナノ
材料や高機能樹脂などの先端材料の進展に加
え、AI や IoT、シミュレーション技術といっ
たデジタル技術の導入により、塗料・塗装技
術は大きな変革期を迎えております。本講演
会では、これらの技術動向や実用化事例、今
後の展望について、最前線でご活躍されてい
る先生方よりご講演いただきます。

—演題と講師—

1. 高品質再生プラスチックの安定供給体制
の構築に向けて(環境省) 河田陽平
2. 吸収色が変化するメカノクロミック材料
と押圧により色が変わる紙(名大) 松尾 豊
3. ケイ素ナノ粒子の Mie 共鳴を用いた構造
色インク・塗料の開発(神戸大) 杉本 泰
4. リコーデジタルペインティング社製品紹
介およびヘッド吐出性に対するインクジェ
ット適性について(リコー) 南場通彦
5. 塗料開発における MI 活用と化合物探
索—計算科学と機械学習を組み合わせた広
義 MI アプローチ(関西ペイント) 長野千尋

参加費 会員(協賛学協会会員共) 20,000
円、会員外 33,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 150-0013 渋谷区恵比寿
3-12-8 東京塗料会館 201 号室 一般社団法
人色材協会 事務局 電話(03) 3443-2811
FAX (03) 3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp
https://shikizai.org/syukitoryokouenkai_2026/

プラズマ分光分析研究会
第 129 回講演会
半導体産業を支える
超微量元素分析の動向

—若手会「最先端で輝く先輩たちからの
メッセージ」併催—

主 催 プラズマ分光分析研究会

協 賛 日本化学会

会 期 10月23日(金) 10時～17時 10分

開催方式 対面式

会 場 東京大学本郷キャンパス化学講堂
(文京区本郷 7-3-1) [アクセス] https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_07_j.html

参加申込締切 10月23日(金) ※要旨集の
事前送付は 10月13日(火) 受付分まで。以降
は後日送付いたします。

近年、半導体デバイスの高性能化・微細化
が急速に進展している。それに伴い、半導体
材料中の超微量不純物元素を高感度かつ高精
度に測定する化学分析技術の必要性が、これ
まで以上に高まっている。本講演会では、半
導体材料評価における ICP-MS を用いた分析
技術を軸に、分析装置や測定手法の最新動向
や応用例について講演いただく。また、若
手会を同時開催し、ポスター発表や若手会講
演会を行う。

1. 次世代半導体プロセスを支える超純水評
価技術の進化(オルガノ) 川田和彦
2. 半導体産業を支える薬液用フィルタと金
属汚染管理技術(日本インテグリス) 守田峻
海
3. 最先端半導体プロセスにおける金属不純
物の制御(横国大) 嵯峨幸一郎
4. [若手会講演] プラズマとの付き合い 50
年余り(東北大) 山崎慎一
5. [2026 年度学術賞受賞記念講演] 毒性学
分野における誘導結合プラズマ質量分析法
の応用(千葉大) 小椋康光

参加費 会員 2,000 円、非会員 5,000 円、学
生会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円(要旨
集のみの購入 1 冊 2,000 円)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 192-0392 八王子市堀之内
1432-1 東京薬科大学生命科学部分子生命
科学科生命分析化学研究室内 プラズマ分光
分析研究会 大関杏子 電話(042) 816-
3001 E-mail: office@plasma-dg.jp
<https://plasma261023.peatix.com>

第 44 回エレクトロセラミックス
セミナー

—「放射光を利用した材料研究の最新動向」
—電池材料解析のトピックスを中心に—

主 催 日本セラミックス協会電子材料部会

協 賛 日本化学会

会 期 10月23日(金) 13時～17時

開催方式 対面式

会 場 TKP 神田ビジネスセンター(千代田
区神田美土代町 3-2 神田アベビル 4～8 階)
[交通] JR 線「神田」駅北口徒歩 6 分、東京
メトロ丸ノ内線「淡路町」駅 B6 出口徒歩 3
分、都営新宿線「小川町」駅 B6 出口徒歩 3

分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B6出口徒歩3分、東京メトロ銀座線「神田」駅4番出口徒歩6分

参加申込締切 会場定員(60名)に達し次第
1. 蓄電池内部の電気化学反応を「その場で、3次元で」観る放射光計測(東北大多元物質科学研) 木村勇太

2. 放射光分析を用いた酸化物系固体電解質の解析(日本特殊陶業ビジネスインプリメンテーション本部先行開発部) 金子雅英

3. X線タイコグラフィによる電池材料の微細構造・化学状態のナノイメージング(東北国際放射光イノベーション・スマート研究セ) 石黒 志

4. 軟X線発光分光を用いた蓄電池材料の解析(物質・材料研究機構エネルギー・環境材料研究セ) 木内久雄

5. リチウム過剰系正極の充放電前後の構造及び価数変化の把握(産総研電池技術研究部門) 田淵光春

参加費 日本セラミックス協会会員8,000円(協賛団体会員含む)、日本化学会会員8,000円、非会員12,000円、学生会員1,000円、学生非会員2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 公益社団法人日本セラミックス協会電子材料部会セミナーWG 沖村康之 電話(080)2602-9551 E-mail: yasuyuki.okimura@niterragroup.com https://www.ceramic.or.jp/bdenshi/activity04/activity04_2026.html

第35回東海地区高等学校 化学研究発表交流会

主催 日本化学会東海支部化学教育協議会
会期 11月3日(火)

開催方式 対面式

会場 名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町) [交通] JR中央線「鶴舞」駅下車名大病院口から東へ約400m・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車4番出口から東へ約500m、桜通線「吹上」駅下車5番出口から西へ約900m

参加申込締切 10月23日(金)ただし定員(100名)になり次第

1. インジゴカルミンの信号反応における赤色中間体について(愛知県一宮高)
2. ヨウ素時計反応における二回目の反応～謎の還元剤を突き止める!(名古屋市向陽高)
3. 溶存酸素量とルミノール濃度の変化における発光との相関について(長野県諏訪清陵高)
4. 安全なブルーボトル反応の実現(千葉県長狭高)
5. 再利用性・持続性の高い化学的冷却機構の最適化(静岡県清水東高)
6. 酸化防止剤の効果(愛知県一宮高)
7. カゼインプラスチックの接着剤としての性能評価(三重県松阪高)
8. 水中マイクロプラスチックの紫外線による分解速度の触媒による変化(岐阜県岐阜高)

参加費 無料

懇親会 E-mailのタイトルに「東海地区高等学校化学研究発表交流会参加申込」と記入し、

1. 氏名・同ふりがな、2. 学校名・学年、3. 連絡先(郵便番号・住所・電話番号・E-mailアドレス)などを明記の上、E-mailにて以下

の申込先にお申し込み下さい。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学農学部(化学教育協議会庶務幹事) 濱本博三 E-mail: hamam@meijo-u.ac.jp

第54回先端科学セミナー 電気化学のための計算化学入門

主催 電気化学会関東支部

協賛 日本化学会

会期 11月6日(金)10時～16時35分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 中央大学・後楽園キャンパス(文京区春日1丁目13-27) [交通] 東京メトロ「後楽園」駅から徒歩約5分

参加申込締切 10月16日(金)

電気化学会関東支部では「電気化学のための計算化学入門」を開催いたします。本セミナーでは、オンデマンド講義で計算化学の基礎から第一原理計算までを体系的に学ぶとともに、ライブセッションでは体験型実践講座や、機械学習・マテリアルズインフォマティクス(MI)に関する特別講演を実施します。初めて受講される方はもちろん、過去に受講された方にも役立つ内容です。研究者、技術者、学生など、産官学を問わず幅広い皆様のご参加をお待ちしております。

[講義のオンデマンド配信]

1. 計算化学概論(早大) 國本雅宏
 2. 量子化学計算(甲南大) 山本雅博
 3. 第一原理計算(筑波大) 大谷 実
 4. 分子動力学計算(横国大) 都築誠二
 5. 計算ソフト紹介(アドバンスソフト) 西原慧徑
- [ライブセッション] (ハイブリッド) 開会の挨拶
6. 特別講演1(早大) 清野淳司
 7. 特別講演2(Matantis社) 張 凡
 8. チュートリアル・実践計算化学～酸化還元電位を計算してみよう!～(前編)
 9. チュートリアル・実践計算化学～酸化還元電位を計算してみよう!～(後編)
 10. 閉会の挨拶

参加費 個人会員(日本化学会会員、協賛学会員含む)15,000円、法人会員(日本化学会会員、協賛学会員含む)25,000円、非会員40,000円、学生3,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 電気化学会関東支部 E-mail: kanto_seminar2026_sentan@kanto.electrochem.jp https://kanto.electrochem.jp/pages/notice/seminar/page-seminar_202610.html

レアメタル研究会(第123回) チタンシンポジウム(第10回)

—チタンの現状と未来—

主催 レアメタル研究会

協賛 日本化学会

会期 11月6日(金)14時～

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東京大学生産技術研究所An棟2Fコンベンションホール リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)の

ハイブリッド研究会(目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所An棟2Fコンベンションホール) [交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅、小田急線「東大沢」駅・「代々木上原」駅より徒歩10分

参加申込締切 10月30日(金)

講演 〈敬称略〉※プログラムの順番等は変更する可能性があります。

1. 東邦チタニウムとJX金属(旧・日本鉱業)(東邦チタニウム) 百野 修
2. 航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望(仮)(神戸製鋼所チタンユニットチタン工場技術部) 百田悠介
3. チタンの軽元素メタラジー(東北大院工) 成島尚之
4. チタン研究の最近の進歩(仮)(東大生産技術研) 岡部 徹
5. クロール法における生産性向上と品質の追求(仮)(大阪チタニウムテクノロジーズ技術部 兼 DX推進部) 山本慎也

参加費 大学・省庁・メディアの関係者は無料、企業関係者は初回無料

懇親会 18時より、東京大学生産技術研究所An棟2Fホワイエにて開催予定。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場4-6-1 Fw-301 東京大学 生産技術研究所 岡部 徹 研究室 宮寄 電話(03)5452-6314 FAX(03)5452-6313 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

化学への招待—講演会 石油化学の歴史・現状・未来

主催 日本化学会関東支部

会期 11月7日(土)13時～15時20分

開催方式 オンライン

参加申込締切 当日まで

毎年ご好評をいただいている「化学への招待—講演会」ですが、今回は石油化学に関する講演会を企画しました。(1)石油化学の歴史と課題、(2)石油化学の現状と取り組み、(3)持続可能な未来へつなぐ高分子化学の三つの話題をそれぞれご専門の先生にご紹介いただきます。中東情勢などで注目が集まっている石油化学に関して、その歴史・現状・未来を俯瞰できる貴重な機会です。

講演

1. 石油化学の歴史と課題(日本化学会フェロー) 田島慶三

日本だけでなく世界の石油化学の歴史を産業面と技術面から紹介するとともに、現在世界の石油化学工業が直面している課題である廃プラスチック問題を取り上げます。

2. 石油化学の現状と取り組み(三井化学市原工場管理部) 本郷康弘

原油からナフサ、ナフサから化学品、化学品を用いた製品への流れの紹介から、企業で行われているカーボンニュートラルの取り組みまで紹介します。

3. 持続可能な未来へつなぐ高分子材料を考える(東大生産技術研) 吉江尚子

生分解性プラスチックやバイオマスプラスチックの開発、またプラスチックのリサイクル技術の最新研究事例を紹介し、高分子化学が持続可能な未来へとどのように貢献できるのかを皆さんと一緒に考えます。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

IQCE 量子化学探索講演会 2026

—量子化学で探る化学の最先端—

主催 量子化学探索研究所

協賛 日本化学会

会期 11月9日(月)13時~17時15分

開催方式 対面式

会場 東京大学山会上会館会議室(文京区本郷7-3-1) [交通] 東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅から徒歩で約15分

参加申込締切 11月2日(月)

1. 開会挨拶
 2. 前田 理(北大)
 3. 塚本孝政(東大)
 4. 小山雅大(広島大, IQCE 特別研究員)
 5. 小関史朗(阪公大, IQCE シニアフェロー)
 6. 山崎 馨(産総研)
 7. 高口博志(広島大)
 8. 中西達大(北大, IQCE 特別研究員)
 9. 中山辰史(岐阜薬大)
 10. 村上龍大(都立大)
 11. 中山 哲(東大) 特別講演
 12. 閉会挨拶
- ※最新情報についてはHP (<https://iqce.jp/index.shtml>) を参照願います。

参加費 無料

懇親会 17時30分~19時30分、東京大学山会上会館レストランにて。会費4,000円(事前振込11月2日(月)まで)、当日受付5,000円(予定)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 量子化学探索研究所 E-mail: office_iqce@iqce.jp <https://sites.google.com/view/iqce2026>

東京科学大学 (Science Tokyo) で過ごす化学な週末 2026

主催 日本化学会関東支部

会期 11月14日(土)14時~16時

開催方式 対面式

会場 東京科学大学大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール(目黒区大岡山2-12-1) [交通] 東急大井町線・目黒線「大岡山」駅から徒歩3分

参加申込締切 11月6日(金)ただし定員(200名)になり次第

東京工業大学と東京医科歯科大学の統合により誕生した東京科学大学の源流は、1881年に創設された東京職工学校にさかのぼります。化学工芸から始まった研究と教育は、その姿を変えながらも145年にわたり、日本のものづくりと科学技術の発展を支えてきました。本イベントでは、この伝統を受け継ぎつつ最前線で研究を進める研究者による講演会を開催いたします。化学を軸に広がる多様な分野の一端を垣間見ることが出来る絶好の機会です。「最新の化学の話を知りたい」、「大学の研究者の話を知りたい」、「大学で化学を学びたい」という方は、ぜひご参加

下さい。

講演

1. 開会挨拶(日本化学会関東支部/科学大) 稲木信介

2. 講演1(科学大理学院化学系教員)

3. 講演2(科学大生命理工学院生命理工学系教員)

4. 講演3(科学大物質理工学院材料系教員)

5. 施設見学等

対象 中高生やその保護者の方、大学生、一般(どなたでも参加いただけます)

参加費 無料(事前登録要)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会関東支部 E-mail: kanto@chemistry.or.jp <https://kanto.csj.jp/>

膜シンポジウム 2026

—“拡がりゆく膜”—

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 11月19日(木)、20日(金)

開催方式 対面式

会場 産業技術総合研究所つくば中央事業所共用講堂(つくば市梅園1-1-1) [交通] つくばエクスプレス「つくば」駅下車、「つくば」駅から「産総研つくば中央」へは路線バス利用

参加申込締切 事前申込みは11月4日(水)締切、以降は当日会場にて受付

本年度の主題は“拡がりゆく膜”とし、人工膜・生体膜・境界領域における膜の研究者が深く議論し合うことで、“膜学”をさらに発展させることを目的とします。本会の理念である人工膜・生体膜・境界領域の融合を目指し、膜に関連する研究者・技術者が一堂に会して、多様な視点から活発に意見を交換し合う場にしたいと考えています。

参加費 (主催団体は主催団体の個人会員および法人会員の社員、協賛学会員は協賛団体の個人会員に限ります) 第一次事前参加登録料: 主催団体・協賛学会員: 9,000円(不課税)、学生5,000円(不課税)、法人参加登録(5名まで参加可、法人会員の企業様に限り) 35,000円(不課税)、非会員: 27,500円(税込)

懇親会 11月19日(木)プログラム終了後、産業技術総合研究所つくば中央にて。会費7,000円(当日9,000円)

参加申込方法 Web [参加登録、懇親会HP (<https://2026sympo.peatix.com>) から申し込み下さい。]

申込先・問合先 日本膜学会渡部 電話(03)3815-2818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <https://www.maku-jp.org/>

2026 年度東海支部 先端化学セミナー

—光医学と光生物学—

主催 日本化学会

会期 11月28日(土)13時~15時30分

開催方式 対面式

会場 静岡大学浜松キャンパス総合研究棟 TC Room 24 (総24教室) (浜松市中央区城北3-5-1) [交通] JR「浜松」駅から徒歩を利

用する場合、北口バスターミナル15または16番のりばから遠鉄バスに乗車「静岡大学」下車

参加申込締切 11月27日(金)(当日直接お越しいただいても結構ですが、できるだけ事前申込をお願いします。)

どなたでもご参加いただけます。できるだけ参加申込フォーム (<https://forms.gle/QfBKazvFKScCkAfTA>) に必要事項を入力してお申し込み下さい。

講演

1. 老化は光発がんを促進するのか—太陽光によるDNAの傷と修復から考える(静岡県大食品栄養科学部) 伊吹裕子

2. 切らずに治す、光で治す—光線力学的療法(PDT)という新たな選択肢(浜松医科大学産婦人科学講座) 村上浩雄

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 432-8561 浜松市中央区城北3-5-1 静岡大学工学部化学バイオ工学科 平川和貴 電話(053)478-1287 E-mail: hirakawa.kazutaka@shizuoka.ac.jp <https://tokai.chemistry.or.jp/event/event-1831/>

界面科学実践講座 2026

—基礎と応用(東海)—

主催 日本油化学会東海支部 日本油化学会界面科学部会(東海)

協賛 日本化学会

会期 12月4日(金)9時30分~16時50分

開催方式 対面式

会場 名古屋市立大学 桜山キャンパス医学部研究棟11階 講義室B(名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1) [交通] 桜通線「桜山」駅下車3番出口すぐ

参加申込締切 11月20日(金)

界面科学技術は、様々な産業界で幅広く利用され、モノ造りにおいて見落とすことのできないポイントとなっています。本講座は、界面科学関連企業の新入社員、業務上界面科学の基礎知識が必要な中堅社員および営業関係の方、界面科学を専攻する学生を主たる対象として、各産業界で活かせる界面科学の基礎と最近のトピックスを中心に、「わかりやすい」をモットーに毎年開催しております。各講義では、難しい物理化学の理論式はできるだけ避け、各講師の経験談や実験等により、参加者の皆様が感覚的に界面科学を理解していただけるよう工夫をしております。

講演

1. 界面活性剤概論—両親媒性分子の構造・物性・機能(名工大) 山本 靖

2. 乳化の基礎—調製法と評価法(日本メナード化粧品) 岡寺俊彦

3. 界面科学からみたヘアカラーリング技術(ホーユー) 今井健仁

4. 乳化重合とアクリル系エマルションポリマーの基礎(東亜合成) 柴田廣之

5. X線の回折・散乱・イメージングによる界面の評価について(科学技術交流財団あいちシンクロトロン光セ) 平野辰巳

参加費 普通会員・法人会員・協賛団体会員9,000円、学校・官公庁5,000円、非会員9,500円、学生500円

懇親会 12月4日(金)17~19時、同大学校

山キャンパス生協にて。会費 1,000 円

参加申込方法 郵送等

申込先・問合先 460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階 中部科学技術センター内 日本油化学会東海支部事務局
電話 (052) 231-3070 E-mail: yuka@cstc.or.jp
<https://www.cstc.or.jp/>

nano tech 第 26 回 国際ナノテクノロジー総合展・ 技術会議

主 催 nano tech 実行委員会/JTB コミュニケーションデザイン

協 賛 日本化学会

会 期 12 月 16 日 (水) 10 時～18 日 (金) 17 時

開催方式 対面式

会 場 東京ビッグサイト西・南ホール&会議棟 (江東区有明 3-11-1) [交通] りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約 7 分/ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅下車徒歩約 3 分

参加申込締切 12 月 18 日 (金)

イノベーションで未来のビジネスを拓く Bridge to Future Business: Innovating Nano-technology

研究開発の重要な共通基盤技術であるナノテクノロジーを軸に、未来技術の社会実装を探索する場として、毎年国際ナノテクノロジー総合展・技術会議“nano tech”を開催。約 400 団体の出展やセミナーを実施。5 万人以上にご来場いただく総合展です。

参加費 無料 (完全 Web 来場登録制)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 105-8335 港区芝 3-23-1 nano tech 実行委員会事務局/JTB コミュニケーションデザイン E-mail: nanotech@jtbcom.co.jp <https://www.nanotechexpo.jp/>

2026 年度第 2 回 (第 40 回) 日本プロセス化学会東四国地区 フォーラムセミナー

主 催 日本プロセス化学会東四国支部

後 援 日本化学会

会 期 12 月 19 日 (土) 13 時 30 分～19 時

開催方式 対面式

会 場 徳島大学地域連携大ホール「けやきホール」(常三島キャンパス) (徳島市南常三島町 1-1, 総合科学部 2 号館) [交通] JR「徳島」駅よりバス 10 分

参加申込締切 当日参加

多くの大学院生、学部学生、教職員ならびに企業の研究者のご来聴を歓迎します。講演会の後、15 件程度のポスター発表を受け付けます。発表をご希望の方は、下記の連絡先までお申し込みください。なお、学生のポスター発表には優秀学生ポスター賞を用意しています。ポスター発表の申込をされる方は、発表題目、所属、氏名 (発表者に○)、および概要 (100～200 字程度。図表に代える場合は字数を調整下さい。) を記載した Word ファイルを E-mail にて下記の幹事までお送り下さい。また学生ポスター発表に関しては発表者の学年 (○の方のみ) をご連絡下さい。ポスター発表申込期限 12 月 10 日 (木)

1. 日本プロセス化学会東四国地区フォーラムセミナー 40 回の歩み (東四国フォーラム/徳島大名堂) 穴戸宏造

2. プロセス化学を目指す若者たちへ 医薬品業界の動向を踏まえて (日本プロセス化学会/元 第一三共) 橋本光紀

3. プロセス化学の教育コンテンツについて (日本プロセス化学会/JITSUBO) 水船秀哉

4. 学術講演: キラルリン酸の開発と新展開 (日本プロセス化学会/学習院大) 秋山隆彦
全体司会ならびに座長 (徳島大) 三好徳和

参加費 無料

懇親会 講演後に講師の先生とフォーラム幹事を交えた情報交換会・ポスター発表を行います。会費: 一般 1,000 円, 学生 500 円 (ポスター代表発表者は無料)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 770-8514 徳島市山城町西浜傍 180 徳島文理大学薬学部 加来裕人
電話 (088) 602-8452 FAX (088) 655-3051
E-mail: kaku@ph.bunri-u.ac.jp

26-5 ポリマーフロンティア 21 粘接着技術の最新動向

主 催 高分子学会行事委員会

協 賛 日本化学会

会 期 1 月 22 日 (金) 10 時 20 分～17 時

開催方式 オンライン

参加申込締切 1 月 15 日 (金) 12 時

1. 循環型社会の実現に向けた易剥離・易解体技術 (日東電工) 小坂尚史

2. 瞬間接着剤の最新開発動向 (東亜合成) 安藤 勝

3. 原子間力顕微鏡を用いた高分子ナノメカニクスの粘接着分野への応用 (科学大) 中嶋健

4. 易解体性接着材料の設計: 高分子反応と界面相互作用の制御の観点から (阪公大) 佐藤絵理子

5. 超分子架橋技術を用いた環境対応型粘着シートの開発 (リンテック) 小鯖 翔

6. フッ素樹脂に接着可能な粘着テープの開発 (積水化学工業) 緒方雄大

参加費 企業 22,000 円, 大学・官公庁 11,000 円, 学生 1,100 円, 名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 3,300 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 104-0042 中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階 公益社団法人高分子学会 26-5 ポリマーフロンティア 21 係
電話 (03) 5540-3772 E-mail: webgyoji@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

第 139 回触媒討論会

主 催 一般社団法人触媒学会

協 賛 日本化学会

会 期 3 月 18 日 (木), 19 日 (金)

開催方式 対面式

会 場 埼玉大学 (さいたま市桜区下大久保 255) [交通] JR 京浜東北線「北浦和」駅西口下車バス「埼玉大学」行き (終点), JR 埼京線「南与野」駅下車北入口バス停から「埼玉大学」行き (終点), JR 埼京線「南与野」駅下車西口バス停からすべての便が埼玉大学を経由します。東武東上線「志木」駅東口下車バス「南与野駅西口」行き (「埼玉大学」下車)

参加申込締切 講演申込・講演者参加登録申込締切: 11 月 9 日 (月), 一般参加登録申込締切: 下記 HP にてご案内

第 139 回触媒討論会は、特別講演, B1 講演 (口頭発表: 10 分発表, 15 分討論), B2 講演 (口頭発表: 20 分発表, 5 分討論), B3 講演 (口頭発表: 10 分発表, 10 分討論) およびポスター発表で構成される予定です。B1 講演には、優秀講演賞および学生優秀講演賞, B3 講演には学生講演賞、ポスター発表には、学生ポスター発表賞を設定します。賞に関する詳細は、下記触媒学会 HP を参照して下さい。

参加費 下記 HP にてご案内

懇親会 3 月 18 日 (木) (予定)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3F 一般社団法人触媒学会
電話 (03) 3291-8224 E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp <https://catsj.jp/catsj-meeting>